

注 意 事 項

1. 試験問題の数は 62 問で解答時間は正味 1 時間 45 分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には a から e までの五つの答えがあるので、そのうち質問に適した答えを(例 1)では一つ、(例 2)では二つ選び答案用紙に記入すること。

(例 1) 101 医師法に規定されているのはどれか。

- a 医療法人の設立認可
- b 診療所開設の届出
- c 不正受験者の措置
- d 広告制限
- e 医療計画

(例 2) 102 医師法に規定されているのはどれか。2つ選べ。

- a 臨床研修を受ける義務
- b 診療所開設の届出
- c 不正受験者の措置
- d 広告制限
- e 医療計画

(例 1)の正解は「c」であるから答案用紙の **(c)** をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
			↓		
101	(a)	(b)	●	(d)	(e)

答案用紙②の場合、

101	101
(a)	(a)
(b)	(b)
(c)	→ ●
(d)	(d)
(e)	(e)

(例 2)の正解は「a」と「c」であるから答案用紙の **(a)** と **(c)** をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

102	(a)	(b)	(c)	(d)	(e)
			↓		
102	●	(b)	●	(d)	(e)

答案用紙②の場合、

102	102
(a)	●
(b)	(b)
(c)	→ ●
(d)	(d)
(e)	(e)

- (2) ア. (例 1)の質問には二つ以上解答した場合は誤りとする。
- イ. (例 2)の質問には一つ又は三つ以上解答した場合は誤りとする。

1 WHO 憲章では、健康とは、単に疾病がないということではなく、「身体的、 的、的に完全に良好な状態である」としている。

に入る言葉はどれか。2つ選べ。

- a 機 能
- b 精 神
- c 衛 生
- d 社 会
- e 経 済

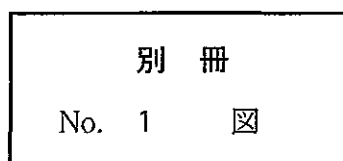
2 世界保健機関(WHO)について正しいのはどれか。

- a 二国間協力を基本としている。
- b 世界食糧援助計画を実施する。
- c 国際疾病分類(ICD)を作成する。
- d 労働者の健康保護について勧告を行う。
- e 2001年にポリオの世界根絶を達成した。

3 ある比率の1947年から現在までの統計(実線)及び今後の予測(点線)のグラフ(別冊No. 1)を別に示す。縦軸は人口1,000人当たりの人数である。

何を示したもののか。

- a 出生率
- b 離婚率
- c 死亡率
- d 高齢者率
- e 認知症有病率



- 4 介護保険について正しいのはどれか。
- a 加入は任意である。
 - b 保険料は全国一律である。
 - c 要介護認定は市町村に申請する。
 - d 介護認定審査会は医師会が設置する。
 - e 本人はケアプランを作ることができない。
- 5 トリアージタグ(識別札)について誤っているのはどれか。
- a 規格は統一されている。
 - b 患者選別のために使用する。
 - c 死亡の場合は黒タグになる。
 - d タグの種別の判断は医師に限られる。
 - e 多数の傷病者が同時発生したときに使う。
- 6 10年前に比べて減少しているのはどれか。
- a 精神科病院数
 - b 歯科診療所数
 - c 一般診療所数
 - d 病院の一般病床数
 - e 病院の療養病床数

7 国家資格でないのはどれか。

- a 介護福祉士
- b 言語聴覚士
- c 臨床工学技士
- d 精神保健福祉士
- e 医療ソーシャルワーカー

8 国民医療費について正しいのはどれか。

- a 正常分娩に要する費用を含む。
- b 国民所得に対する割合は10%を超える。
- c 傷病分類別一般診療医療費では循環器系疾患が最も多い。
- d 年齢別1人当たり医療費は65歳以上が65歳未満の約2倍である。
- e 財源別では「保険料」、「公費」および「患者負担」の中で「公費」が最も多い。

9 最近10年間の我が国の人口動態について正しいのはどれか。

- a 妊産婦死亡率は出産10万対10以下である。
- b 総再生産率は1.00を超えている。
- c 合計特殊出生率は1.5と1.7との間で推移している。
- d 20～39歳の死因の第1位は悪性新生物である。
- e 全死因の年齢調整死亡率は上昇している。

10 正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 国際労働機関 ————— ILO
- b 国連食糧農業機関 ————— FAO
- c 国際協力機構 ————— ODA
- d 政府開発援助 ————— JICA
- e 国連児童基金 ————— NPO

11 母子健康手帳で誤っているのはどれか。

- a 記載項目が定められている。
- b 母子保健法に基づいて交付される。
- c 交付には医師の診断書が必要である。
- d 保健と育児に関する情報を提供する。
- e 妊産婦・乳幼児の健康診査の結果を記録する。

12 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)で2名以上の精神保健指定医の診察結果の一致を必要とするのはどれか。

- a 任意入院
- b 応急入院
- c 措置入院
- d 緊急措置入院
- e 医療保護入院

13 産業医が規定されているのはどれか。

- a 医師法
- b 医療法
- c 労働基準法
- d 労働安全衛生法
- e 労働者災害補償保険法

14 大腸癌に対して感度 80 %、特異度 70 % の検査がある。ある地区でこの検査を施行したところ、100 人の陽性者が見つかった。

真に大腸癌を有すると予測される人数はどれか。

- a 20 人
- b 30 人
- c 70 人
- d 80 人
- e 予測できない

- 15 日本、アメリカ、イギリス、イタリア及びカナダの1920年から2000年の老年人口割合(%)を示す。

	1920年	1940年	1960年	1980年	2000年
①	4.7	6.9	9.2	11.2	12.3
②	5.3	4.8	5.7	9.1	17.3
③	4.8	6.7	7.5	9.4	12.6
④	6.0	9.0	11.7	15.1	15.9
⑤	6.7	7.4	9.3	13.2	18.2

日本はどれか。

- a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④
 - e ⑤
- 16 ある職場で飲酒習慣の有る集団について、健康診断の結果を基に10年間の追跡調査を行い生活習慣と肥満との関係を調べた。

この疫学研究はどれか。

- a 横断研究
- b コホート研究
- c 患者対照研究
- d 介入研究
- e メタ分析(メタアナリシス)

17 疾病と治療の5つの組合せについて、報告された治療群と対照群との改善者数は表のようであった。

疾病と治療の 組合せ	治 療 群		対 照 群	
	人 数	改善者数	人 数	改善者数
①	200	100	200	80
②	400	120	400	100
③	500	300	500	200
④	1,000	600	1,000	500
⑤	2,000	800	2,000	600

治療によって最も改善するのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

18 我が国の新生児マススクリーニングで発見率が最も高いのはどれか。

- a ガラクトース血症
- b 先天性甲状腺機能低下症
- c 先天性副腎皮質過形成症
- d フェニルケトン尿症
- e ホモシスチン尿症

- 19 糖尿病の危険因子でないのはどれか。
- a 高食塩食
 - b 高炭水化物食
 - c 肥 満
 - d 運動不足
 - e アルコール多飲
- 20 認知症の高齢者の介護で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 情報は簡潔に伝える。
 - b 目を合わせないで話す。
 - c 間違ったらその場で叱る。
 - d 生活環境を大きく変える。
 - e 規則正しい生活を指導する。
- 21 精神障害者のリハビリテーションで正しいのはどれか。
- a 効果は一時的である。
 - b 就労支援は含まれない。
 - c 作業療法は入院中には行わない。
 - d 薬物療法と併用されることが多い。
 - e デイケアは外来患者には行わない。

- 22 我が国の現在の結核対策で正しいのはどれか。
- a 診断は胸部エックス線写真による。
 - b 診断後7日以内に保健所へ届け出る。
 - c 介護保険施設入所者には入所前にBCGを接種する。
 - d 乳児にはツベルクリン反応検査を行わずにBCGを接種する。
 - e 患者の接触者にはDOTS(directly observed treatment, short course)を行う。
- 23 予防接種後、他の予防接種までに4週以上の間隔をおいた方がよいのはどれか。
2つ選べ。
- a B型肝炎
 - b 水痘
 - c 日本脳炎
 - d 破傷風
 - e 麻疹
- 24 院内肺炎で正しいのはどれか。
- a 誤嚥は院内肺炎の原因になる。
 - b 高齢者は若年者よりも予後がよい。
 - c 院内感染症の中で最も頻度が高い。
 - d 最も多い起因菌は肺炎球菌である。
 - e 喀痰検査で起因菌は容易に同定できる。

- 25 誤っているのはどれか。
- a 健康食品は農林水産省が認定する。
 - b 高齢者用食品は特別用途食品に含まれる。
 - c 食品添加物には表示義務が課せられている。
 - d 保健機能食品には栄養機能食品と特定保健用食品とがある。
 - e 日本人の食事摂取基準には栄養素の「上限量」の記載が含まれる。
- 26 麻疹罹患学童の出席停止期間の基準はどれか。
- a 解熱するまで
 - b 発疹が消失するまで
 - c 特有の咳が消失するまで
 - d 解熱後3日を経過するまで
 - e 発疹消失後3日を経過するまで
- 27 学校医の職務はどれか。2つ選べ。
- a 児童・生徒の健康診断
 - b 学校プールの水質検査
 - c 学校で使用する医薬品の管理
 - d 学校保健安全計画の立案への参加
 - e 学校伝染病による出席停止の決定

28 鉛健康診断の尿検査項目はどれか。

- a 馬尿酸
- b マンデル酸
- c トリクロロ酢酸
- d δ -アミノレブリン酸
- e β_2 -ミクログロブリン

29 地球温暖化で危惧されるのはどれか。2つ選べ。

- a 寒帯地域での白内障の増加
- b 温帯地域での皮膚癌の増加
- c 発展途上国での循環器疾患の増加
- d マラリア感染危険地域の高緯度への拡大
- e 温帯地域で熱中症に罹患する高齢者の増加

30 光化学オキシダントの主な物質はどれか。

- a フロン
- b オゾン
- c 二酸化硫黄
- d 浮遊粒子状物質
- e ダイオキシン類

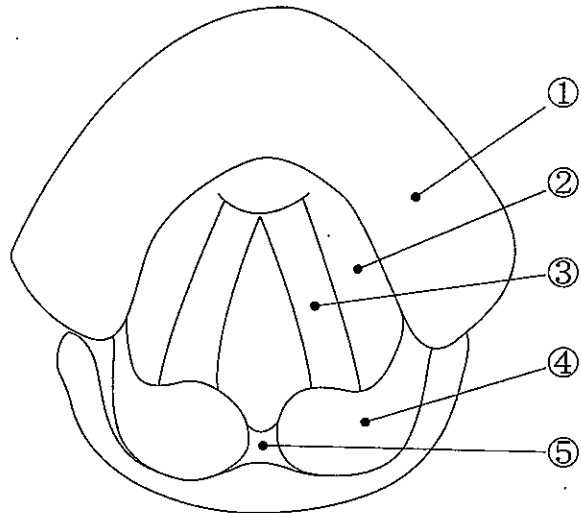
31 大気汚染に係る環境基準が設定されていないのはどれか。

- a ベンゼン
- b 二酸化炭素
- c 二酸化窒素
- d トリクロロエチレン
- e テトラクロロエチレン

32 間接喉頭鏡所見の模式図を示す。

仮声帯はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤



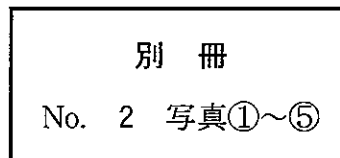
33 正しいのはどれか。

- a 卵胞数は思春期に最大となる。
- b 原始卵胞は卵とそれを取り囲む多層の顆粒膜細胞とからなる。
- c 原始卵胞から1次卵胞への発育にFSHが必須である。
- d 成熟卵胞には卵胞腔が存在する。
- e 排卵直前には卵胞の直径は約5mmになる。

34 頭部単純 MRI (別冊No. 2①~⑤) を別に示す。

視索がみられるのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤



35 正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 瞳孔径は加齢とともに大きくなる。
- b 瞳孔散大筋はコリン作動性である。
- c 瞳孔括約筋は動眼神経支配を受ける。
- d 近見によって縮瞳する。
- e 眼圧上昇によって縮瞳する。

36 顔面の皮膚感覚を支配するのはどれか。

- a 三叉神経
- b 顔面神経
- c 舌咽神経
- d 迷走神経
- e 副神経

- 37 肺の細胞と機能の組合せで誤っているのはどれか。
- a 杯細胞 ————— 粘液分泌
 - b 線維芽細胞 ————— 膠原線維産生
 - c 神経内分泌細胞 ————— セロトニン分泌
 - d I型肺胞上皮細胞 ————— サーファクタント分泌
 - e 肺胞マクロファージ ————— 細菌貪食

- 38 胸骨背面に最も近接するのはどれか。

- a 上・下大静脈
- b 右心房
- c 右心室
- d 左心房
- e 左心室

- 39 安静時に心拍出量の約5%が灌流する臓器はどれか。

- a 脳
- b 心
- c 肺
- d 肝
- e 腎

40 漿膜がないのはどれか。

- a 食道
- b 胃
- c 十二指腸
- d 空腸
- e 横行結腸

41 74歳の男性。殿部の潰瘍を主訴に来院した。3か月前から殿部に潰瘍ができて
いる。20年前に水泳の飛び込みで頸部を損傷し、C7以下に麻痺がある。日中は自
宅で電動車椅子を自ら運転し、坐位で生活をしている。殿部の写真(別冊No. 3)を
別に示す。

適応とならないのはどれか。

- a 訪問診療
- b 訪問看護
- c 在宅介護
- d 訪問リハビリテーション
- e 特別養護老人ホーム入所

別 冊 No. 3 写 真

42 29歳の女性。不安と不眠とを主訴に来院した。2年前に結婚した。それまで優しく見えた夫は家庭内ではちょっとしたことで激昂し、しばしば殴られ体中があざだらけになった。とうとう耐え切れず、半年前から別居している。しかし、別居後も別居前の生活を思い出して寝付けず、酒と睡眠薬とに頼るようになった。最近、夫が自分の職場に出入りする可能性が生じた。それを知って以来、体重が激減し、睡眠薬の量が増えてきた。電話の音にびくっとし、仕事に出る気力もなくなった。入院を希望している。

入院治療にあたり考慮すべき法律はどれか。2つ選べ。

- a 生活保護法
- b 労働安全衛生法
- c 麻薬及び向精神薬取締法
- d 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉
- e 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律〈DV法〉

43 妊娠26週の初妊婦。定期健康診査で頻回の子宮収縮を感じると訴えた。内診で外子宮口は2cm開大し、腹部超音波検査で児の推定体重は700gであった。

患者への説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 全分娩の約15%が早産する。
- b 感染は早産の主要な原因である。
- c いま出生すると超低出生体重児となる。
- d 妊娠30週で出生した児の生存率は約60%である。
- e 妊娠36週で分娩すると正期産となる。

44 10か月の男児。健康診査のため来院した。在胎39週2日、頭位正常分娩で出生した。身長47.5 cm、体重2,800 g、Apgarスコア8点(1分)であった。つかまり立ちはするが、這い這いはしない。離乳食は2回で、お粥を子ども茶碗1杯と副食とを食べる。他に母乳を4回飲んでいる。2か月前から人見知りが始まり、両親以外の人近づくと激しく泣く。毎日夜泣きをする。身長68.2 cm、体重8.0 kg。顔色は良好。胸部と腹部とに異常を認めない。医師の顔を見て泣く。成長曲線(別冊No. 4)を別に示す。

親への説明で正しいのはどれか。

- a 母乳をやめる。
- b 摂取カロリーは不足している。
- c 1歳までに離乳食を3回にする。
- d 運動発達は遅れている。
- e 人見知り・夜泣きが激しいのは異常である。

別 冊

No. 4 図

45 33歳の男性。発熱、腹痛、嘔吐および下痢を主訴に来院した。東南アジアに1週間出張して一昨日帰国した。昨日昼から急に悪心、嘔吐とともに39℃台の発熱と腹痛とが出現した。最初は、便意はあるものの排便がみられず、さしこむような腹痛が何度も出現したが、その後水様下痢が頻回となり、便に血液、粘液および膿を混じるようになった。

原因微生物はどれか。

- a 寄生虫
- b 細菌
- c リケッチア
- d マイコプラズマ
- e ウイルス

46 ある病院において院内感染対策を強化することとした。院内感染症対策委員会（ICC）の下に感染制御チーム（ICT）を立ち上げた。ICTは病院職員の手洗いを標準予防策に則ったものとする教育をまず行うこととした。手洗いの手順（別冊 No. 5①～⑤）を別に示す。

手洗いの手順で最後に行うのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④
- e ⑤

別 冊

No. 5 写真①～⑤

47 45歳の女性。住宅建築会社の事務職員。のどの痛みを主訴に、会社の衛生管理者に付き添われて来院した。2か月前、住宅展示場の新築住宅案内係に異動した直後から屋内の刺激臭が気になっていた。1か月前から、出勤日に限って頭痛、鼻閉感、のどの痛み及び吐き気を自覚するようになり、3日前からのどの痛みが強くなった。身長155 cm、体重50 kg。体温36.6℃。血圧120/60 mmHg。結膜は左右とも充血し、咽頭粘膜はびまん性に発赤している。皮膚に発疹を認めない。心音、呼吸音および腹部に異常を認めない。尿所見：蛋白(-)、潜血(-)。血液所見：赤沈10 mm/1時間、赤血球400万、Hb 12.5 g/dl、白血球8,000。血液生化学所見：AST 12 IU/l、ALT 6 IU/l。会社の衛生管理者が、勤務場所周辺での屋内化学物質濃度の測定結果を持参している。その結果は次のとおりである。測定条件：展示場の休業日に、住宅の出入り口と窓を閉めて測定。室内温度28.5℃、湿度45%。ホルムアルデヒド $39 \mu\text{g}/\text{m}^3$ (指針値100)、総揮発性有機化合物 $365 \mu\text{g}/\text{m}^3$ (目標値400)。

衛生管理者に対して、この受診者への対応について述べる意見として適切なものはどれか。

- a 特に措置を行わず経過をみる。
- b 勤務場所に空気清浄器を設置する。
- c 他の勤務場所へ配置転換を勧める。
- d ガーゼマスクを装着させて勤務させる。
- e 尿中の有機化合物代謝物の測定を指導する。

48 34歳の3回経産婦。妊娠38週時に陣痛発来のため来院した。入院後、陣痛は次第に増強して、12時間後に3,210gの女児を経膣分娩した。分娩経過は順調であった。児娩出後15分を経過したが胎盤が娩出されない。子宮底は臍上2cmで、硬さは軟である。腔内に胎盤を触知しない。少量の性器出血が持続している。

まず行うのはどれか。

- a 臍帯牽引
- b 胎盤用手剝離
- c 子宮底輪状マッサージ
- d 胎盤鉗子による胎盤娩出
- e エルゴメトリン(麦角アルカロイド)投与

49 生後10日の新生児。黄疸を主訴に入院している。在胎39週3日、体重2,950gで出生した。出生後の血清ビリルビン値の変動を表に示す。

(単位：mg/dl)

	出生当日	生後2日	生後5日	生後10日
総ビリルビン	1.0	5.0	13.2	4.5
直接ビリルビン	0.4	2.0	2.6	2.8

異常なのはどれか。

- a 出生当日の直接ビリルビン値
- b 生後2日の総ビリルビン値
- c 生後5日の総ビリルビン値
- d 生後10日の総ビリルビン値
- e 生後10日の直接ビリルビン値

50 2歳6か月の男児。発達の遅れを心配して来院した。身長89 cm、体重13.5 kg。手すりにつかまって階段を下りるが、片足跳びはできない。積み木を5個積むが、まねて丸を描くことはできない。簡単な洋服は自分で着るが、一人で顔は洗えない。パパ、ママ、ワンワンは言うが「〇〇は××」という文では話さない。ごっこ遊びをするがうちは知らせない。母親を識別する。

遅れているのはどれか。

- a 身体発育
- b 粗大運動
- c 微細運動
- d 言語
- e 社会性

次の文を読み、51～53の問いに答えよ。

65歳の男性。血便を主訴に来院した。

現病歴 : 2か月前から排便異常と便の細小化とが持続し、1週間前から下血(鮮紅色)が出現している。

既往歴 : 特記すべきことはない。

現症 : 身長168 cm、体重61 kg。体温37.2℃。脈拍72/分、整。血圧120/62 mmHg。眼瞼結膜に貧血を認める。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。

検査所見 : 血液所見 : 赤血球310万、Hb 9.1 g/dl、Ht 27%、白血球9,200、血小板21万。血液生化学所見 : 総蛋白6.2 g/dl、アルブミン3.3 g/dl、AST 25 IU/l、ALT 25 IU/l。免疫学所見 : CRP 2.8 mg/dl、CEA 7.6 ng/ml(基準5以下)。注腸造影写真(別冊No. 6A、B)を別に示す。

別冊

No. 6 写真A、B

51 診断に有用なのはどれか。2つ選べ。

- a 小腸造影
- b 腹部造影 CT
- c 腹腔動脈造影
- d 大腸内視鏡検査
- e 腹部エックス線単純撮影

52 下血の原因はどれか。

- a 痔瘻
- b 直腸癌
- c Crohn 病
- d 大腸憩室炎
- e 潰瘍性大腸炎

53 治療として適切なのはどれか。

- a 手術
- b 抗菌薬投与
- c 免疫抑制薬投与
- d 内視鏡的粘膜切除術
- e 副腎皮質ステロイド薬投与

次の文を読み、54～56の問いに答えよ。

68歳の男性。尿失禁を主訴に来院した。

現病歴 : 2年前から就寝後に2回トイレに行くようになった。1か月前から気が付かないうちに尿失禁をきたしている。残尿感と排尿困難とは認めない。

既往歴 : 10年前から糖尿病で血糖降下薬を内服している。

家族歴 : 特記すべきことはない。

現症 : 意識は清明。身長160 cm、体重66 kg。体温36.4℃。脈拍68/分、整。血圧144/88 mmHg。下腹部に弾性軟で手拳大の腫瘤を触知する。下肢に浮腫を認めない。直腸診で小鶏卵大の前立腺を触知するが、硬結や圧痛は認めない。

検査所見 : 尿所見：蛋白(-)、糖2+、潜血(-)、沈渣に赤血球と白血球とを認めない。血液所見：赤血球450万、Hb 14.6 g/dl、Ht 44%、白血球5,600。血液生化学所見：血糖146 mg/dl、HbA_{1c} 6.8% (基準4.3~5.8)、尿素窒素20.0 mg/dl、クレアチニン1.2 mg/dl。免疫学所見：CRP 0.1 mg/dl、PSA 1.6 ng/ml (基準4.0以下)。

54 診断に有用なのはどれか。2つ選べ。

- a 尿培養
- b 尿細胞診
- c 尿流測定
- d 前立腺生検
- e 腹部超音波検査

55 考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 膀胱腫瘍
- b 前立腺炎
- c 前立腺癌
- d 神経因性膀胱
- e 前立腺肥大症

56 対応として適切なのはどれか。

- a 自己導尿
- b 抗菌薬投与
- c 骨盤底筋体操
- d β 遮断薬投与
- e 膀胱カテーテル留置

次の文を読み、57～59の問いに答えよ。

60歳の男性。歩行困難とめまいのため搬入された。

現病歴 : 本日の午後1時、会議で立って発言中に突然めまいと嘔吐とが出現し、ふらふらして、まっすぐ立っていられなくなった。歩こうとするとふらついてよろけそうになった。

既往歴 : 20年前から高血圧。

家族歴 : 父親が高血圧。

現症 : 意識は清明。身長165 cm、体重72 kg。体温36.2℃。呼吸数20/分。臥位で脈拍84/分、整。血圧180/90 mmHg。眼瞼結膜と眼球結膜とに異常を認めない。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知せず、圧痛や抵抗を認めない。知能は正常である。頭痛はない。失語・失行・失認を認めない。瞳孔径は右2 mm、左5 mm。瞼裂は右で狭く、右眼球陥凹を認める。前額部や胸部の発汗は左で目立つ。右の難聴、右末梢性顔面神経麻痺、右への側方注視麻痺、眼振および右上下肢の小脳性運動失調を認める。視力、眼底所見、対光反射、眼球の輻湊に伴う縮瞳反応、四肢筋力、触覚、深部感覚および四肢の深部腱反射は正常である。構音障害、嚥下障害、病的反射および不随意運動を認めない。

入院時検査所見 : 尿所見：蛋白(－)、糖(－)。血液所見：赤血球430万、Hb 14.5 g/dl、Ht 41%、白血球6,200、血小板28万。血液生化学所見：総蛋白7.2 g/dl、アルブミン4.9 g/dl、尿素窒素8.0 mg/dl、クレアチニン0.7 mg/dl、AST 24 IU/l、ALT 19 IU/l、LDH 270 IU/l(基準176～353)。心電図と頭部単純CTとに異常を認めない。

57 認められる所見はどれか。

- a Adie 症候群
- b Horner 徴候
- c Romberg 徴候
- d Babinski 徴候
- e Argyll Robertson 瞳孔

58 異常を示す検査はどれか。

- a 針筋電図
- b 表面筋電図
- c 誘発筋電図
- d 聴性脳幹反応
- e 神経伝導速度

59 病変はどこにあるか。

- a 視 床
- b 中 脳
- c 橋
- d 内 耳
- e 頸 髄

次の文を読み、60～62の問いに答えよ。

9か月の乳児。嘔吐を主訴に来院した。

現病歴 : 昨夜から37.8℃の発熱を認めた。黄色水様の下痢が5回あり、食欲は低下していた。今朝から排便はない。母乳を3回与えたが、3回とも吐いた。顔色不良で、激しく泣いた後、ぐったりする状態を繰り返している。

発育・発達歴 : 在胎39週、胎盤早期剝離のため、緊急帝王切開で出生した。体重3,225g。Apgarスコア3点(1分)。追視2か月、あやし笑い3か月、首のすわり6か月、寝返り6か月、お坐り9か月。母乳栄養で、生後5か月から離乳食を開始している。

家族歴 : 特記すべきことはない。

現症 : 身長72cm、体重7,800g。体温37.5℃。心拍数140/分、整。無表情でうとうととしている。皮膚と口唇とは乾燥し、皮膚色は蒼白である。眼瞼結膜はやや貧血様で、眼球結膜に黄染を認めない。咽頭に軽度の発赤を認める。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦で、右下腹部は空虚であり、右上腹部を触ると激しく泣く。項部硬直を認めない。

検査所見 : 血液所見：赤血球311万、Hb 10.7g/dl、Ht 31%、白血球12,600(好中球66%、好酸球3%、好塩基球2%、単球5%、リンパ球24%)、血小板21万。血液生化学所見：血糖76mg/dl、総蛋白6.2g/dl、アルブミン3.4g/dl、尿素窒素9.0mg/dl、クレアチニン0.8mg/dl、総ビリルビン0.7mg/dl、AST 21IU/l、ALT 18IU/l、LDH 362IU/l(基準340～700)、ALP 580IU/l(基準780以下)、Na 138mEq/l、K 4.5mEq/l、Cl 97mEq/l。CRP 1.8mg/dl。

60 この児の発達で異常なのはどれか。2つ選べ。

- a 追 視
- b あやし笑い
- c 首のすわり
- d 寝返り
- e お坐り

61 まず行う処置はどれか。

- a 導 尿
- b 浣 腸
- c 胃内容吸引
- d 制吐薬投与
- e 脳脊髄液検査

62 腹部超音波検査で見られる所見はどれか。

- a double bubble sign
- b sentinel loop sign
- c string sign
- d target sign
- e umbrella sign